

2024年度 町田市立金井中学校 学校経営計画・学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

令和7年3月31日

学校教育目標	・進んで学び、実践力のある生徒(自主) ・互いに敬愛し、思いやりのある生徒(敬愛) ・心身ともに健康で、たくましい生徒(健康)	学校経営の重点	アンガーマネジメントを意識し、生徒を褒めて励ます指導を展開して世界で活躍できる国際人を育成する。
○目指す学校像……①生徒「明日もいきいたいと思う学校」②保護者「子どもの成長が期待できる学校」③教職員「充実感を持って働くことのできる学校」 ○目指す児童・生徒像……①何事にも興味を持って取り組む生徒②国際人として世界に貢献しようとする生徒③思いやりを持ち相手の個性を尊重できる生徒 ○目指す教師像……①生徒理解に努め、可能性を引き出す教師②研修に励み、授業力向上に努める教師③服務規律を守り、保護者・地域から信頼される教師		重点目標の成果と課題 アンガーマネジメントの授業を年に5回実施しているが、健全な人間関係の構築やいじめの未然防止に役立っている実感をもっている。しかしながら、トラブルの事例もあり、指導の仕方を工夫し、再研修の必要性がある。来年度の課題として、適切な方法を模索したい。	

領域	教育プランに基づく経営目標	中期・短期経営目標	具体的方策	取組指標	平均	評価	成果指標	○%	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価 記入欄	評価
社会に開かれた教育課程の実現	目指す学校及び子どもの姿を家庭や地域社会と共有・連携した教育課程を実施する。	学校での教育活動を積極的に発信する。	学校・学年だよりを定期的に発行するとともに、ホームページの効果的な更新とメール配信を行う。	4 学校便り月1回・学年だより月4回の発行・HP週4回の更新 3 学校便り月1回・学年だより月3回の発行・HP週3回の更新 2 学校便り月1回・学年だより月2回の発行・HP週2回の更新 1 学校便り月1回・学年だより月1回の発行・HP週1回の更新	3.5	A	4 保護者アンケート満足率90%以上 3 保護者アンケート満足率80%以上 2 保護者アンケート満足率70%以上 1 保護者アンケート満足率60%以上	81	A	・学校だよりの発行は11回を数え、定期的に発行ができた。 ・ホームページの更新は、給食が始まったこともあり、ほぼ毎日更新された。日常の様子も的確に伝えられた。 ・地域人材を活用したキャリア教育は、VCの協力もあり、円滑に進めることができた。 ・近隣中学校や学区の小学校に紹介する部分については、芳しくない状況があった。	・学年だよりの発行やホームページの更新には、副校長補佐やスクールサポートスタッフの力を借りて、職務を進めていくようにしたい。 ・他校への紹介や周知については、不十分なところがあるので、地区委員会や町内会等との機会を利用してきたい。	・ホームページの更新が毎日のように行われていることに感心している。保護者からの評価も高い。 ・紙ベースの学校だよりも引き続きやっていただきたい。	A
			学年行事や学校行事などをリモートで発信する。また、授業を常時公開する。	4 アンケートの90%以上で取組がおおむね認知されたと判断 3 アンケートの80%以上で取組がおおむね認知されたと判断 2 アンケートの70%以上で取組がある程度認知されたと判断 1 アンケートの60%以上で取組が少し認知されたと判断	3	B	4 保護者アンケート満足率90%以上 3 保護者アンケート満足率80%以上 2 保護者アンケート満足率70%以上 1 保護者アンケート満足率60%以上	97	A				
		地域人材を有効に活用し、地域社会と連携する。	地域人材を積極的に取り入れ、また、新たな人材発掘を行い、創造的なキャリア教育を展開する。	4 90%以上の授業で実施 3 80%以上の授業で実施 2 70%以上の授業で実施 1 60%以上の授業で実施	3	B	4 90%以上の生徒に定着 3 80%以上の生徒に定着 2 70%以上の生徒に定着 1 60%以上の生徒に定着	80	A				
			地域人材を取り入れた3年間キャリア教育を確立し、その過程で取り入れた人材を、他の中学校へ紹介していく。	4 90%以上の指導場面で実施 3 80%以上の指導場面で実施 2 70%以上の指導場面で実施 1 60%以上の指導場面で実施	3.2	B	4 90%以上の生徒に定着 3 80%以上の生徒に定着 2 70%以上の生徒に定着 1 60%以上の生徒に定着	78	B				
確かな学力の育成	授業改善を進め、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力等の育成とともに、主体的・対話的で深い学びを実現する。	生徒が理解しやすい方法を取り入れた授業を展開する。	全教科においてICTを積極的に取り入れた授業を行う。	4 90%以上の授業で実施 3 80%以上の授業で実施 2 70%以上の授業で実施 1 60%以上の授業で実施	3.5	A	4 90%以上の生徒に定着 3 80%以上の生徒に定着 2 70%以上の生徒に定着 1 60%以上の生徒に定着	85	A	・ICT担当者を中心に教員だけでなく、生徒にも研修指導を行った。数名ではあるが、適切に使用できない生徒もいた。 ・プレゼンテーション能力が高い生徒も多く、教員の指導力が高いことが得意な生徒も多い。 ・朝の時間の活用については、学年によって取り組みに差があり、共通理解の必要性を感じる。 ・放課後学習教室の参加生徒が増え、地域人材とともに教職員が活動できるとよい。	・クロムブックの持ち帰りによって、破壊や不適切なワードへの検索が増えた。適正な使用の指導を各教科、各学年で徹底させたい。 ・プレゼンテーションの機会を総合的な学習の時間だけでなく、教科や特別活動の場面でも増加させたい。	・学校公開の機会では授業を拝見しても、クロムブックを利用する教科は多くなってきたと思う。 ・生徒が適正かつ安全に利用していけば、思考力、判断力、表現力の向上にも期待がもてる。	B
			生徒が主体となるように、グループ活動・プレゼンテーション授業などを積極的に進行。	4 90%以上の指導場面で実施 3 80%以上の指導場面で実施 2 70%以上の指導場面で実施 1 60%以上の指導場面で実施	3	B	4 90%以上の生徒に定着 3 80%以上の生徒に定着 2 70%以上の生徒に定着 1 60%以上の生徒に定着	78	B				
		基礎基本を定着させ、学習に興味を持たせる授業を行う。	朝読書やナビマ、クベナなどを有効に使い、基本的な能力をしっかりと身につけさせる。	4 90%以上の指導場面で実施 3 80%以上の指導場面で実施 2 70%以上の指導場面で実施 1 60%以上の指導場面で実施	3.2	B	4 90%以上の生徒に定着 3 80%以上の生徒に定着 2 70%以上の生徒に定着 1 60%以上の生徒に定着	75	B				
			放課後学習・テスト前の補習授業などを行い、教科への苦手意識を取り去り、興味を持たせる。	4 90%以上の指導場面で実施 3 80%以上の指導場面で実施 2 70%以上の指導場面で実施 1 60%以上の指導場面で実施	2.5	C	4 90%以上の生徒に定着 3 80%以上の生徒に定着 2 70%以上の生徒に定着 1 60%以上の生徒に定着	70	B				
豊かな心の涵養	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にす意識・意欲・態度を育てる。	アンガーマネジメント教育を実施し、よりよい人間関係の構築を学ばせる。	人それぞれが、違う考え方を持っていることを自覚させることで、いじめを撲滅させる。	4 90%以上の授業で実施 3 80%以上の授業で実施 2 70%以上の授業で実施 1 60%以上の授業で実施	3	B	4 90%以上の生徒に定着 3 80%以上の生徒に定着 2 70%以上の生徒に定着 1 60%以上の生徒に定着	80	A	・アンガーマネジメント授業の時期がタイムリーではなく、1学期の早い段階での実施をする必要がある。 ・教職員や生徒に、人の話を最後まで聞くことを身掛けているものが多く、アンガーマネジメントの効果は出ている。 ・外部人材の力を借りて、社会に出たときの人間形成は十分に行われている。職場体験については、実施後の生徒の変容が見取れる。	・アンガーマネジメントの研修を年度の早い段階で行い、授業を早い段階での実施をする必要がある。 ・キャリア教育に関する取り組みをさらに発展させ、時代に合わせた教育活動を行えるように、踏み出す勇氣と具体的な実践を行う。 ・国内英語留学を2年生の中心となる取り組みとして、特色ある活動として他校にも広めていく。	・アンガーマネジメント授業の実施と英語の国内留学については、金井中学校の特色ある活動で、市内でもその取り組みに注目が集まっている。質の高いものをさらに構築してもらいたい。	A
			友達の話を親身になって聞く「傾聴」を学び、互いに尊重する心を身につけていく。	4 90%以上の授業で実施 3 80%以上の授業で実施 2 70%以上の授業で実施 1 60%以上の授業で実施	3	B	4 90%以上の生徒に定着 3 80%以上の生徒に定着 2 70%以上の生徒に定着 1 60%以上の生徒に定着	78	B				
		キャリア教育を通して、いろいろな人の考え方を学び、将来に役立てていく。	「働く意義」を学ばせることで自分の将来を見つめ、社会人としての素養を身につけていく。また、キャリア教育の重要性を他校へ発信させていく。	4 90%以上の授業で実施 3 80%以上の授業で実施 2 70%以上の授業で実施 1 60%以上の授業で実施	3.2	B	4 90%以上の生徒に定着 3 80%以上の生徒に定着 2 70%以上の生徒に定着 1 60%以上の生徒に定着	78	B				
			英語国内留学などを体験させ、積極的に世界の人々へ目を向かせることで、国際人としての素養を磨いていく。	4 90%以上の授業で実施 3 80%以上の授業で実施 2 70%以上の授業で実施 1 60%以上の授業で実施	3.5	A	4 90%以上の生徒に定着 3 80%以上の生徒に定着 2 70%以上の生徒に定着 1 60%以上の生徒に定着	95	A				
健やかな体の育成	正しい生活習慣を身に付けさせ、丈夫な体とたくましい心を育てるとともに、自助・共助・公助の力を身に付ける安全指導・安全教育を充実する。	生涯を通しての運動・生活習慣を身につけさせる教育を行う。	体育の授業などで、毎日続けられる無理のない運動習慣を身につける授業を展開する。	4 90%以上の授業で実施 3 80%以上の授業で実施 2 70%以上の授業で実施 1 60%以上の授業で実施	3.2	B	4 90%以上の生徒に定着 3 80%以上の生徒に定着 2 70%以上の生徒に定着 1 60%以上の生徒に定着	75	B	・運動習慣が身につけている生徒とそうでない生徒の意欲の差が大きい。 ・給食が始まり、食に関する関心は一層高まっている。教科間の連携をとって食育を推進させていきたい。 ・共感と傾聴を意識した生徒理解を行える教員が多くなってきた反面、そのことに意識が薄い教員も存在する。	・春に予定される体育祭や運動部顧問とも連携し、生徒の発達段階に合わせた授業内容と指導内容を模索させたい。 ・給食開始を適切な機会ととらえ、食育に関する取り組みを特別活動の中でひと盛り込ませたい。 ・生徒指導の現場に若手教員を立ち合わせ、具体的な指導を含めて、その後にある対応を学ばせたい。 ・最近の生活指導は、ほとんどがSNS絡みであることを認識して、未然防止策を保護者と模索する機会をもちたい。	・生徒の運動する機会は年々少なくなっている気がしている。それに伴い、体力低下も懸念される。 ・学校では態度に出さない生徒の割合が増えているように感じる。対話の割合を増やし、信頼できる大人が増えることが望ましい。	B
			家庭科などで、積極的に健康的な食習慣などの資料提示や授業を行い、将来に役立たせる。	4 90%以上の授業で実施 3 80%以上の授業で実施 2 70%以上の授業で実施 1 60%以上の授業で実施	3	B	4 90%以上の生徒に定着 3 80%以上の生徒に定着 2 70%以上の生徒に定着 1 60%以上の生徒に定着	70	B				
		生徒全員が、気持ちよく安全に生活できる環境を整えるための組織を確立させる。	全教員が生徒の立場に立った指導を行う。そして褒める指導を常に意識して行うようにする。	4 90%以上の指導場面で実施 3 80%以上の指導場面で実施 2 70%以上の指導場面で実施 1 60%以上の指導場面で実施	3.2	B	4 90%以上の生徒に定着 3 80%以上の生徒に定着 2 70%以上の生徒に定着 1 60%以上の生徒に定着	78	B				
			SNS・ゲーム依存などのスマホが取り巻くトラブル防止のため、日ごろから外部人材などを通して、その怖さを教えていく。	4 90%以上の指導場面で実施 3 80%以上の指導場面で実施 2 70%以上の指導場面で実施 1 60%以上の指導場面で実施	3	B	4 90%以上の生徒に定着 3 80%以上の生徒に定着 2 70%以上の生徒に定着 1 60%以上の生徒に定着	70	B				
その他													

<b>取組指標の評価基準(結果数値からABCD評価へ)</b> 取組指標平均 3.5以上 ⇒ 評語A 取組指標平均 3以上3.5未満 ⇒ 評語B 取組指標平均 2以上3未満 ⇒ 評語C 取組指標平均 2未満 ⇒ 評語D	<b>成果指標評価基準</b> 成果指標平均 80%以上 ⇒ 評価A 成果指標平均 70%以上 ⇒ 評価B 成果指標平均 55%以上 ⇒ 評価C 成果指標平均 55%未満 ⇒ 評価D	<b>学校関係者評価の評価基準例</b> A⇒ 取組・成果ともに十分評価できる B⇒ 取組・成果ともに評価できるが、さらに改善したい C⇒ 目標達成には至らないため、次年度の改善が必要 D⇒ 重要な課題であるため、次年度、重点的に改善 ※ 学校からの十分な説明をもとに、学校運営協議会で成果と課題、改善点について協議する。
---	---	--

※ 学校独自に設定する場合は、枠内を修正明記してください。